

来年2/7 NPO見本市&栃木ボランティア・市民活動フォーラム 2010

実行委員募集

今回のテーマ（概要）は

ほっとけない ほっとかない

～10年後のとちぎのために 今できること～

古い、障害、虐待、若者、子育て、生活苦などなど、さまざまな助け合いの現場で、身近なところから考え、できることを行動していくことで、決して明るいとはいえない未来に「希望」を見出すことができるはず…。私たちNPO・ボランティアは明るい未来を描くことができるのでしょうか？

パンドラの箱が空いてしまった今、底に残った「希望」を見出すのは私たちです！

今年は、テーマ別ワークショップで「10年後の悪夢」にならないために、「私たち」ができる行動・活動をみんなで考えます。

2009/8/30

NPO・市民活動関係者各位

「NPO見本市&栃木ボランティア・市民活動フォーラム2010」の実施と実行委員募集について

同実行委員会準備会(事務局：とちぎボランティアネットワーク/矢野)

謹啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて毎年、実行委員会形式で運営している「栃木ボランティア市民活動フォーラム」を今年度も実施することになりました。今回も栃木県から委託金を得て、「フォーラム」と「NPO見本市」の合体企画として実施します。すでにプレ実行委員会も7月、8月に行われ「フォーラム」の企画概要を決めたところです。

今回は3回目という区切りの年でもあり、実行委員の公募(10人程度)をします。やりたい人はぜひお電話ください。その際、実行委員は「分科会ワークショップ」の企画持ち込みをしてください。10月1日(木)に行なわれる第1回実行委員会で協議のうえ、分科会ワークショップを決定し、さらに担当分科会の運営も行なっていただきますと思います。なお、実行委員会はこれから毎月1回程度実施する予定です。(平日夜19時から実施)

■今回の分科会のしかけ

「ほっとけない ほっとかない～10年後のとちぎのために 今できること～」を合言葉にテーマ別ワークショップを行ないます。方法は

① このままだと、10年後に訪れるだろう「悪夢のシナリオ」をまとめる。

・実行委員が、分科会のテーマ毎に具体的に考える(10月末まで)

↓

②パンフレット、チラシ、ホームページ等で「悪夢のシナリオ」の公開、予告。討議参加者の募集。

↓

③当日(2/7)の分科会ワークショップの実施

・実行委員が分科会毎に分かれて進行する。

・ワークショップ参加者は事前に分科会毎の「悪夢のシナリオ」を読み、できること・活動を考えてくる。

・「まとめ」を模造紙で全体会会場に掲示、発表。今から私たちが市民活動として取り組むべきことを箇条書きにする。

●条件

・「政治が変わればいい」、「行政が変わればいい」「法律ができれば…」など、他人任せ、組織の責任追及の議論にしない。

●分科会テーマ(例)

- ・貧困(生活苦)
- ・環境・温暖化
- ・独居老人…孤独(死)のコミュニティ
- ・多文化共生…外国人の社会保障
- ・仕事をどうする…失業・ワーキングプア
- ・アウトロー系…ドラッグ、犯罪、自殺
- ・教育費高すぎ…階層化社会
- ・
- ・
- ・

※これはあくまで例ですのでこれ以外の持ち込み企画も募集しています。テーマが似ている場合には、協議のうえ、統廃合します。

これまでのプレ実行委員会では、上記のような大枠を企画の方向性とししました。「私はこのテーマで10年後のことと、今からできることを考えてみたい」と思う方はぜひ実行委員会にご参加ください。なお第1回実行委員会は10月1日(木)19:00から、とちぎボランティアネットワーク事務所で行ないます。(夕飯200円で食べられます)。この日の実行委員会には必ずご参加ください。実行委員になりたい方は9/24までに電話028-622-0021(担当:矢野)までお申込みください。

なお、下記に「フォーラム」の企画書等を添付しますので、ご一読いただき、ご参加いただければ幸いです。

敬具

記

1、名称:

NPO見本市&栃木ボランティア・市民活動フォーラム2010

「ほっとけない ほっとかない〜10年後のとちぎのために、今できること〜」

2、目的: 栃木県民に対してボランティアやNPOについての啓発・普及するとともに、一般の参加者には、身近な地域にあるNPOや市民活動団体への参加を促す機会とする。同時に分野を超えたNPO関係者による共通テーマによる全体会・分科会形式での討論会を行うことで県内NPO・市民活動の担い手の相互研鑽の機会とする。

3、期日: 2010年2月7日(日) 場所: とちぎ健康の森(宇都宮市駒生)

4、内容

企画A【NPO見本市】部門

●一般県民のほか、特に定年退職した団塊の世代へのNPO等市民活動団体の紹介・対話の機会となる“NPOの見本市”を開催する。NPOは60団体程度を予定。見本市のディスプレイは今後活動PRの時に使えるレベルのものにしていただければと思う。制作物のアドバイスも行う。

●分科会を午前・午後に振り分け、NPO見本市出展者もフォーラムに参加できるように、適度に来場者が

あるように分散して実施する。

企画B【栃木ボランティア・市民活動フォーラム】部門

●昨年度に開催した「NPO見本市&栃木ボランティア・市民活動フォーラム2009—プロを超えるアマチュアたち」は約560人の参加者を得て、盛会のうちに実施できた。今年度も昨年度同様の形式で実施するが、より参加者が理解度を深め、フォーラム後に地域でのNPO活動の活性化とボランティア活動への参加が行なわれるよう企画・実施する。今年度のテーマ設定としては、グローバリゼーションにともなう不況の進行と生活不安が進むなかで、ボランティア・市民活動＝私たちは「生活支援」をどのようにできるのか、「助け合い」を根本から問う内容としていきたい。フォーラムのテーマ（サブタイトル）は実行委員会でも正式に決定する。今年度も、参加者が後日NPOへの参加の連絡に便宜をはかる。

また、昨年度実施し好評を得た「寄付イベント」、「体験ワークショップ」等については実施の有無を含めて今後検討していく。

5、当日のスケジュール(検討中)

フォーラム	NPO見本市
9：30-10：00/受付・準備（前日2/6夕方1にも準備可）	
10：00-10：30/全体会・基調講演orシンポジウム（企画中）	
10：45-12：45/分科会午前の部（4分科会）	10：45-15：00/NPO見本市
お昼	
13：30-15：30/分科会午後の部（4分科会）	
15：40-16：10/全体会・まとめ（企画中）	
16：10-16：45/片付け	片付け

※イベント終了後、自費で懇親会を予定

※昼食は随時

■実行委員会事務局・連絡先■

特活) とちぎボランティアネットワーク・NPO活動推進センター

〒320-0027 栃木県宇都宮市埴田 2-5-1 共生ビル 3 階

電話 028-622-0021 FAX028-623-6036 (矢野まで)

メール tvnet1995@ybb.ne.jp

URL <http://www.geocities.or.jp/tvnet1995>